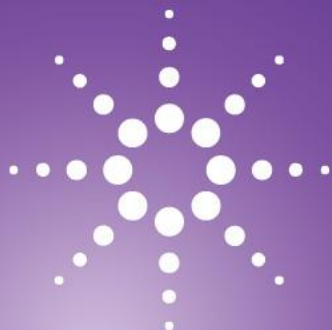
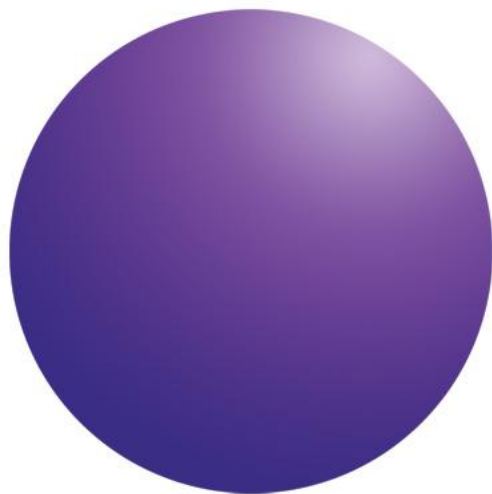




**Agilent OpenLAB
クロマト
データシステム
(CDS)**



**ワークステーション
インストールガイド**



Agilent Technologies

注意

© Agilent Technologies, Inc. 2010-2011

このマニュアルの内容は米国著作権法および国際著作権法によって保護されており、Agilent Technologies, Inc. の書面による事前の許可なく、このマニュアルの一部または全部をいかなる形態（電子データやデータの抽出または他国語への翻訳など）あるいはいかなる方法によっても複製することが禁止されています。

マニュアル番号

M8301-96002

エディション

2011 年 7 月

Agilent Technologies

5301 Stevens Creek Blvd Santa Clara CA

95051 United States

ソフトウェアリビジョン

このガイドは、Agilent OpenLAB CDS A. 01. 03 に対して有効です。

保証

このマニュアルの内容は「現状のまま」提供されることを前提としており、将来の改訂版で予告なく変更されることがあります。また、Agilent は適用される法律によって最大限許される範囲において、このマニュアルおよびそれに含まれる情報に関し、商品の適格性や特定用途に対する適合性への暗黙の保障を含み、また、それに限定されないすべての保証を明示的か暗黙的かを問わず、一切いたしません。

Agilent は、このマニュアルまたはこのマニュアルに記載されている情報の提供、使用または実行に関連して生じた過誤、付随的損害あるいは間接的損害に対する責任を一切負いません。Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、このマニュアルの内容に対する保証条項がここに記載されている条件と矛盾する場合は、別に合意された契約の保証条項が適用されます。

技術ライセンス

本書で扱っているハードウェアおよびソフトウェアは、ライセンスに基づき提供されており、それらのライセンス条項に従う場合のみ使用または複製することができます。

安全に関する注意

注意

注意は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、製品を破損や重要なデータの損失にいたるおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、注意を無視して先に進んではなりません。

警告

警告は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、人身への傷害または死亡にいたるおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、警告を無視して先に進んではなりません。

目次

はじめに 4

このガイドの目的 4

Agilent OpenLAB CDS ソフトウェア 5

始める前に 6

ソフトウェアのインストール 8

ステップ 1 : アプリケーションの実行 8

ステップ 2 : DVD を一元化されたフォルダーにコピーしてインストールする（オプション） 8

ステップ 3 : システムコンフィグレーションチェッカーの実行 9

ステップ 4 : OpenLAB CDS インストールウィザードの実行 11

ソフトウェアのアンインストール 16

マスターインストーラの実行 16

OpenLAB CDS アンインストールウィザードの実行 16

オプションの手順 18

ソフトウェアインストール後の IQ の実行 18

OpenLAB CDS ワークステーションの最新バージョンへのアップグレード 18

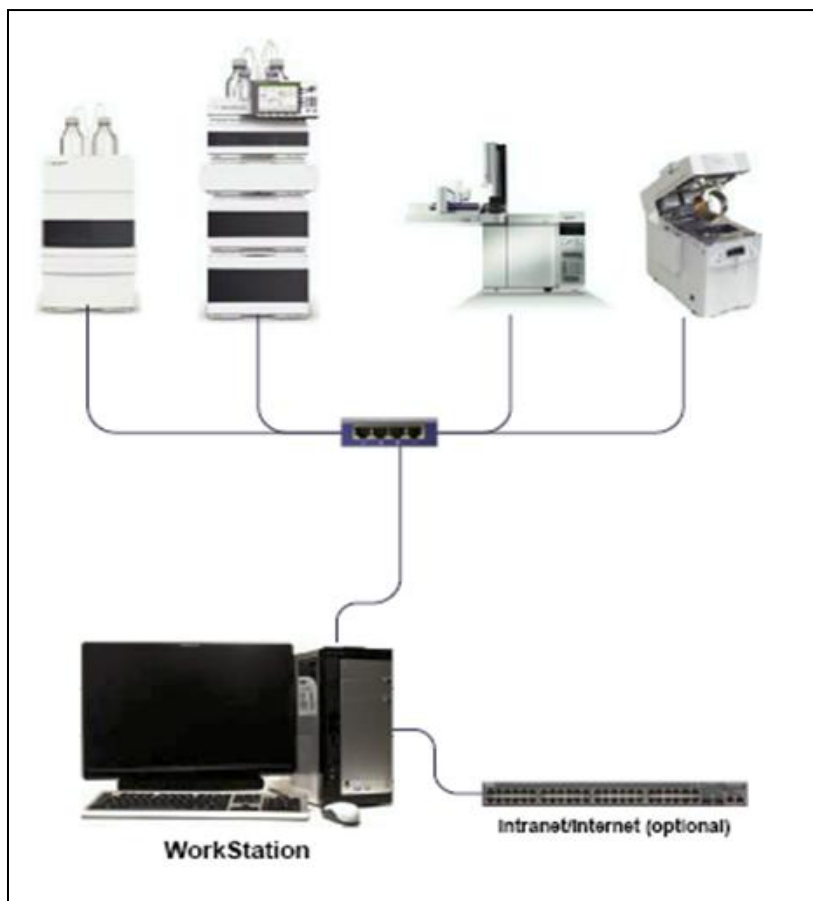
ライセンスのインストール 19

はじめに

このガイドの目的

本インストールガイドは、システム管理者およびその他のユーザーが Agilent OpenLAB クロマトグラフデータシステム (CDS) を個々のワークステーションに素早く、かつ正確にインストールできるようにすることを目的としています。

図 1 は、サンプルのワークステーションハードウェアのコンフィグレーションを示しています。



その他のシステムコンフィグレーションインストールガイドについては Agilent または販売担当者にお問い合わせください。

Agilent OpenLAB CDS ソフトウェア

Agilent OpenLAB CDS に、OpenLAB Electronic Lab Notebook (ELN) と OpenLAB Enterprise Content Manager (ECM) で、Agilent OpenLAB ソフトウェアスイートを構成しています。これらの 3 つの一体型ソリューションは、小規模のスタンドアロン分析ラボから、数百ものロケーションを持つグローバルネットワークまで、顧客のニーズに合わせたシステムを形成します。OpenLAB ソフトウェアを使用すると、多数のベンダーの機器を、個々のワークステーションやワークグループからグローバルエンタープライズまで、あらゆる規模のネットワークに接続することができます。機器のフルコントロール、管理の一元化、および容易なサポートにより、ユーザーは、運営コストの低減を実現でき、機器が利用しやすくなります。OpenLAB スイートのその他の製品については、Agilent または販売担当者にお問い合わせください。

Agilent OpenLAB CDS ソフトウェアは、エディション別に 4 枚のディスクで提供されます。表 1 は、お使いのソフトウェアエディションを含むディスクを示しています。

表 1 OpenLAB CDS コンポーネント

ディスク名	エディション	
	ChemStation	EZChrom
OpenLAB CDS Shared Services ソフトウェア	√	√
OpenLAB CDS ChemStation エディション コアソフトウェア	√	
OpenLAB CDS ChemStation エディションドライバ	√	
OpenLAB CDS EZChrom エディション コアソフトウェア		√
OpenLAB CDS EZChrom エディションドライバ		√
OpenLAB CDS サポート	√	√

始める前に

ソフトウェアのインストールを簡素化するには、実際のソフトウェアインストールを開始する前にいくつかのコンフィグレーションオプションを決めてください。

- 1 **OpenLAB CDS** をインストールするため、すべてのサーバーおよびクライアントにおいて管理者権限を持っていることを確認します。パワーユーザー権限では十分ではありません（インストールを開始できません）。
- 2 データ、メソッド、シーケンス、およびコンフィグレーションなど、データシステムソフトウェアに関連するすべてのファイルを保存するディレクトリのロケーションを決めてください。ディレクトリは、ソフトウェアを実行中の PC に常にアクセスできる必要があります。
- 3 お使いのシステムで **OpenLAB ECM** を使用する場合、ECM サーバー名を入手してください。
- 4 ソフトウェアをインストールする方法を決めます。
 - **DVD から直接お使いのコンピュータにインストールする場合** — 必要に応じてディスクをワークステーションディスクドライブから直接読み込みます。
 - **DVD を一元化されたロケーションにコピーしてインストールする場合** — ユーティリティを使用して DVD コンテンツをネットワーク共有フォルダーまたは USB ドライブにコピーし、そのロケーションからインストールを連続して実行することができます。この方法を使用すると **時間が節約** できます。フォルダーからインストールする場合、ディスクを再読み込みする必要はありません。
- 5 アプリケーションを起動する際は、ソフトウェアをインストールする前に、インストーラの **【計画】** および **【リソース】** メニューで以下の PDF を確認することができます。

インストーラの **【計画】** メニューに用意されているものは以下のとおりです。

- **ハードウェアおよびソフトウェアの要件** — この PDF を使用して、お使いのハードウェアとソフトウェアでこのシステムがサポートされるかどうかを判断します。
- **ワークステーションのインストールガイド** — 電子コピー版のこのインストールガイドは、いつでも利用できるように PDF 形式で提供されます。

インストーラの **【リソース】** メニューに用意されているものは以下のとおりです。

- *OpenLAB CDS ネットワークの要件* – この PDF を使用して、設定がネットワーク要件の基準に準拠していることを確認します。

6 お使いのワークステーション環境を設定します。

OpenLAB CDS を **Windows 7** または **Windows Vista** にインストールする場合、**Windows** の **【コントロールパネル】** に移動し、**【ユーザーアカウントコントロール】** の切り替えをオフにします。インストールが完了したら、このコントロールの切り替えを戻すことができます。

7 A/C ボード、ケーブル、GPIB ボード、検出器、および通信ケーブルなど、必要なハードウェアをすべて接続します。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアは、同梱されている OpenLAB CDS マスターインストーラで自動的にインストールされます。このツールにより、OpenLAB CDS の各種コンポーネントがインストールされます。

ステップ 1：アプリケーションの実行

- 1 お使いのワークステーションで初めてアプリケーションを実行するには：
 - a DVD から直接インストールする場合には、OpenLAB CDS インストールディスクを挿入します。Autorun.inf が自動的に **Agilent.OpenLABCDSSetupFromDVD.exe** を実行させ、インストーラの【計画】画面が表示されます。
 - b ポータブルデータ保存デバイスを用いてインストールする場合には、コンピュータ USB ポートにデバイスを挿入し、**¥Disk1¥Setup.bat** に移動してこのアプリケーションを実行し、【計画】画面に進みます。
 - c 共有ファイルアプローチでは、以下のステップ 2 の記述に従って、一元化されたフォルダーに DVD をすべてコピーします。

ステップ 2：DVD を一元化されたフォルダーにコピーしてインストールする（オプション）

この手順に従うと、フォルダーから直接、連続してインストールを実行することができます。実際のインストール時に個々のディスクを読み込む必要はありません。

- 1 インストーラ【計画】画面のサイドバーメニューから【インストール】を選択します。
- 2 【ネットワーク共有からのインストール準備】を選択します。
- 3 【ネットワーク共有】画面で、ディレクトリに移動し、以下のように出力先フォルダーを作成します。

注：ドライブのルートへのインストールは、操作中に問題を引き起こす場合があります、サポートしていません。

- a 【参照】を選択します。

- b フォルダーを作成するディレクトリに移動します（USB ドライブにフォルダーを作成するため、USB ドライブポートに移動します）。
- c **【新しいフォルダーの作成】** を選択します。
- d フォルダー名を入力します。
- e **【OK】** を選択します。パスが表示されている、**【ネットワーク共有】** 画面に自動的に戻ります。
- f フォルダーにコピーするディスクを選択してください。**すべてのディスク、ChemStation ディスク、または EZChrom ディスク** があります。
- g **【開始】** を選択します。
- h 新しいディスクを挿入するメッセージが表示されたらそれに従います。
- 4 処理が完了したら、ファイルをローカルドライブにコピーするか、ネットワークドライブのロケーションを割り当てます。
- 5 アプリケーションを閉じて、作成したディレクトリとフォルダーに移動します。フォルダーを開きます。
- 6 **【Disk 1】** フォルダー、次に **Setup.bat** を選択してアプリケーションを実行します。

インストーラの **【計画】** 画面が表示されます。

ステップ 3：システムコンフィグレーションチェッカーの実行

- 1 **【計画】** 画面で、**【システムコンフィグレーションチェッカー】** を選択します。.NET 3.5 SP1、またはそれ以降のバージョンがシステムにない場合は、**【Agilent OpenLAB CDS 前提条件設定】** 画面が表示されます。
 - a ライセンス契約をお読みください。
 - b **【同意する】** を選択して、契約内容に同意し、.NET 3.5 SP1 のインストールを開始します。
この画面で **【同意しない】** を選択すると、インストールプログラムが終了します。.NET 3.5 SP1、またはそれ以降をマニュアルでインストールして、OpenLAB CDS のインストールを開始する必要があります。

- 2 ドロップダウンリストから、インストールする OpenLAB CDS ソフトウェアの正しいエディションと設定を選択します。
 - OpenLAB CDS Shared Server コア
 - OpenLAB CDS EZChrom エディション
(ワークステーション/NWS/クライアント/AIC)
 - OpenLAB CDS ChemStation エディション (ワークステーションまたはネットワークワークステーション)
- 3 [OK] を選択します。
- 4 提供されるフィールドに入力して **【顧客情報-システムの詳細】** の第 1 ページに入力します。
 - [システムロケーション] フィールド
 - [コンフィグレーション] フィールド
 - [システム情報] フィールド
- 5 システムの詳細を確認して、必要なエントリを行います。システムは指定されたパスに従います。
- 6 画面の上部左隅の緑のチェックマークアイコンを選択して、システムのチェックを始めます。サマリレポートが表示され、各チェックカテゴリの結果が示されます。結果には、**合格**、**注意**、**警告**、または**不合格**があります。

結果が **不合格** となった場合、修正してからインストールを続行する必要があります。可能な限り、**警告**および**注意**はすべて調査し、修正してから続行することを推奨します。
- 7 レポートの詳細を表示するには、次のリンクを選択してください。**システムハードウェア詳細**、**オペレーティングシステムとソフトウェアの詳細**、または**手動検査**。
- 8 レポートを保存するには、画面の上部左にある **【レポートの保存】** アイコンを選択します。
- 9 Agilent ソフトウェアシステムのインストールに関してお使いの PC を評価および検証するには、**Agilent** またはサービス関係者に保存したレポートを電子メールで送信してください。

ステップ 4 : OpenLAB CDS インストールウィザードの実行

ここで、DVD を直接使用するか、または一元化されたロケーション (USB ドライブまたは共有フォルダー) からのいずれかにより、インストールを実行します。インストールウィザードを開始するまでのインストール手順は、全く同じです。一元化されたロケーションからインストールする場合、DVD を読み込むメッセージは表示されません。

使用許諾契約書

- 1 OpenLAB CDS マスターインストーラ **【計画】** 画面から、**【インストール】** を選択します。
- 2 .NET 3.5 SP1、またはそれ以降のバージョンがお使いのシステムにない場合は、**【Agilent OpenLAB CDS 前提条件設定】** 画面が表示されます。
 - a ライセンス契約をお読みください。
 - b **【同意】** を選択して、契約内容に同意し、.NET 3.5 SP1 のインストールを開始します。

この画面で **【同意しない】** を選択すると、インストールプログラムが終了します。あとで .NET 3.5 SP1、またはそれ以降のバージョンをインストールして、OpenLAB CDS のインストールを開始する必要があります。
- 3 **【OpenLAB CDS インストールウィザード】** が開きます。**ライセンス条項**の規約をお読みください。マスターインストーラでは、メインメニューの **【リソース】** オプションで印刷可能な使用許諾書の PDF が提供されます。
- 4 **【規約に同意します】** を選択します。この条件に同意しない限りインストールを開始できません。
- 5 **【次へ】** を選択し、**【インストールフォルダー】** 画面に進みます。

【インストールフォルダー】画面

- 1 フォルダー名を入力するか、アプリケーションコンポーネントの保存先ディレクトリに移動します。

注：ドライブのルートへのインストールは、運転中に問題を引き起こす場合があります、サポートされません。

- 2 このインストールの一部として据付時適格性評価を実行するには、**【インストール適格性評価を実行します】**を選択します。

インストール適格性評価（IQ）では、お使いのシステムが正しく構築およびインストールされ、すべての設計仕様が満たされていることを示す文書が提供されます。必要に応じて IQ を後で実行することができます。このマニュアルの「**オプションの手順**」を参照してください。

- 3 **【次へ】**を選択し、**【インストールの種類】**画面に進みます。

インストールの種類画面

- 1 インストールの種類では、**【スタンドアローンワークステーション】**を選択します。
- 2 **【次へ】**を選択し、**【CDS エディション】**画面に進みます。お使いのデータシステムのエディションを選択します。
- 3 **【次へ】**を選択し、お使いのエディションに固有の**【インストール】**画面に進みます。

インストール画面

- 1 インストールする CDS エディションを選択します。
エディションとして **【ChemStation】**を選択する場合、コンフィグレーションのオプション画面に適切な値を入力してください。
 - a **【インストールフォルダー】**では、フォルダー名を入力するか、アプリケーションコンポーネントの保存先ディレクトリに移動します。フォルダー名はスペースをいれずに入力してください。
- 注：ChemStation エディションは、OpenLAB CDS Shared Server コアと同じディレクトリにインストールされない場合があります。

- b **【IO ライブラリ】**では、Agilent IO ライブラリスイートをインストールする場合、**【IO ライブラリをインストール】** ボックスをチェックします。このスイートは、必要に応じて後にマニュアルでインストールすることができます。

【EZChrom】 エディションを選択する場合：

- c **【エンタープライズパス】**では、パスを入力するか、アプリケーションコンポーネントの保存先ディレクトリに移動します。ディレクトリ名はスペースをいれずに入力してください。

2 **【次へ】**を選択し、**【追加項目】**画面に進みます。

3 お使いのデータシステムで **OpenLAB ECM** を使用する場合、以下を実行します。

- a **【OpenLAB ECM を使用】** ボックスをチェックします。**【サーバー名】** フィールドが表示されます。
- b スペースを入れずにサーバー名を入力します。**【接続テスト】**を選択します。接続テストが実行され、機能している OpenLAB ECM サーバーへのアクセスが確認されます。

接続テストが正常に終了したら、**【接続成功】**のメッセージが表示されます。**【OK】**をクリックして続行します。

接続テストに失敗した場合、アプリケーション項目の画面に戻ります。ここで、以下の処理を行うことができます。

- **【次へ】**を選択してテストを再び実行します。テストがまだも正常に終了しない場合、以下の処理を行うことができます。
- 新しい OpenLAB ECM サーバーを入力して別のテストを試みます。
- OpenLAB ECM サーバーに接続できない場合、社内サポートの支援を受けてください。
- このボックスのチェックを解除して、OpenLAB ECM なしでインストールを実行できます。サーバーが決まったら、後でお使いのデータシステムにこれを追加することができます。

4 **【次へ】**を選択し、サマリ画面に進みます。

サマリ画面

- 1 これまでの手順で選択したインストールの設定をレビューします。
必要に応じて **【戻る】** を選択してインストールの設定を変更するか、**【キャンセル】** を選択してインストールをキャンセルします。
- 2 **【開始】** を選択してインストールを開始します。
システムチェックが自動的に実行され、リストされているアクティビティに進みます。
【システムチェック合格】 というメッセージが表示された場合、インストールが続行します。
【システムチェック失敗】 というメッセージが表示された場合、以下のいずれかを実行します。
 - a システムレポートを確認せずに、インストールを続行する。
 - b システムレポートを確認し、インストールを続行する。
 - c システムレポートを確認し、インストールを中断して問題を修正する。
- 3 お使いのインストールの設定により、インストール中にコピーする必要のあるディスクが決定されます。ディスクから直接インストールする場合、**【ディスクの挿入】** が表示されるのでメッセージに従ってください。
一元化されたフォルダーロケーションからインストールする場合、ディスクの挿入やディスクフォルダーへの移動は行わないでください。すべてのインストールがインストールの設定に基づいて自動的に実行されます。
[OpenLAB CDS インストールウィザード] で必要なファイルが検索できない場合（ディスク上、またはフォルダー内）、**【ディスクまたはファイルが見つかりません】** というメッセージが表示されます。
ディスクに対して、メッセージに従い、以下を実行します。
 - 同じディスクを使用して **【再試行】** する。
 - 正しいディスクを挿入して（エラーとなった場合）、**【OK】** を選択する。
 - **【キャンセル】** を選択して、インストールをキャンセルする。これまでにインストールされたコンポーネントはすべてアンインストールされます。

一元化されたフォルダーのファイルが見つからない場合は、フォルダーを再び作成する必要があります。上記の**ステップ 2 : ディスクを一元化されたフォルダーにコピーしてインストールする（オプション）**を参照してください。

必要なアプリケーションやコンポーネントのインストールが失敗した場合、インストールはロールバック（アンインストール）されます。失敗したコンポーネントが、後で基本のインストールに影響を与えずにインストールできる場合（ECM API、ドライバなど）、インストールが続行します。この場合、すべての失敗が通知され、すべてのインストールを完了するために続きの手順が必要である旨が通知されます。

- 4 このインストールの一部として IQ が完了すると、**[IQT レポート]**を確認できます。レポートに不合格である場合、コンピュータの要件を確認し、データシステムを再インストールします。IQT レポートの結果が「合格」となるまで、システムを使用しないでください。

ステップ 5 : Acrobat Reader のインストール（オプション）

サイトプレパレーションまたは管理レポートを表示する、あるいは新しいレポートビューアー機能（ChemStation エディションのみ）を使用するには、PDF リーダーが必要です。

PDF リーダーがお使いのシステムにインストールされていない場合は、OpenLAB CDS インストール DVD から Adobe Reader バージョン 10.1.0 をインストールできます。**ディスク 6/Adobe Reader** に、4 言語のバージョン（英語、日本語、中国語、ポルトガル語）が用意されています。

選択した言語の自己解凍 exe ファイルを実行して、**[Adobe Reader X セットアップウィザード]**の説明に従ってください。

ソフトウェアのアンインストール

インストールと同様、OpenLAB CDS のアンインストールも OpenLAB CDS マスターインストーラで自動的に実行されます。

マスターインストーラは、同じユーザーインタフェースを使用してすべての OpenLAB CDS コンフィグレーションのソフトウェアのアンインストールができる仕様になっています（スタンドアローンまたはネットワークワークステーション）。

マスターインストーラの [メンテナンス] セクションにある [OpenLAB CDS アンインストール] のガイダンスより、アンインストールを実行できます。

マスターインストーラの実行

- 1 ワークステーションでマスターインストーラを実行するには：
 - a ディスクからアンインストールを実行するには、OpenLAB CDS インストールディスク（ディスク 1）を挿入します。Autostart により **Agilent.OpenLABCDSSetupFromDVD.exe** が自動的に実行され、インストーラの [計画] 画面が表示されます。
 - b ポータブルデータ保存デバイスを用いてアンインストールする場合には、コンピュータ USB ポートにデバイスを挿入し、**¥Disk 1** に進み、**Setup.bat** を実行して、[計画] 画面に進みます。
 - c 共有ファイルアプローチでは、コンテンツをローカルドライブにコピーして、それぞれの共有ファイルのフォルダーに移動します。次に **¥Disk1** に移動し、**Setup.bat** を実行して [計画] 画面に進みます。

OpenLAB CDS アンインストールウィザードの実行

- 1 マスターインストーラの [計画] 画面のサイドバーメニューから [メンテナンス] を選択します。
- 2 [OpenLAB CDS アンインストール] を選択します。
[OpenLAB CDS アンインストールウィザード] が開きます。
- 3 [共有コンポーネント] 画面で、[インストール適格性評価のアンインストール] チェックボックスをチェックします。

- 4 **【次へ】** をクリックします。
アンインストール時に、インストール適格性評価が共有コンポーネントであることを示すメッセージが表示されます。
注： OpenLAB CDS をあとで再インストールする場合には、IQ（インストール適格性評価）をアンインストールする必要があります。
- 5 **【はい】** をクリックして続行します。
【OpenLAB CDS コンポーネントのアンインストール】 の **【サマリ】** 画面には、アンインストールするコンポーネントのリストが表示されます。
- 6 **【開始】** を選択してアンインストールを開始します。
アンインストールを中止する場合は、**【キャンセル】** を選択します。
設定を変更する場合は、**【戻る】** を選択します。
リストされているコンポーネントがすべて、順々に自動的にアンインストールされます。
- 7 アンインストールが完了したら、**【完了】** をクリックし、アンインストールウィザードを閉じます。

オプションの手順

ソフトウェアインストール後の IQ の実行

インストール適格性評価 (IQ) では、お使いのシステムが正しく構築およびインストールされ、すべての設計仕様が満たされていることを示す文書が提供されます。

- 1 お使いの Windows オペレーティング システム (Windows 7、Windows Vista、または Windows XP) を使用して、**[スタート -> すべてのプログラム -> Agilent Technologies -> Installation Qualification Tool]** へと進みます。
- 2 **[Installation Qualification Tool]** を選択します。
アプリケーションが実行され、**IQT レポート**が作成されます。
- 3 レポートに不合格が示されている場合、コンピュータの要件を確認し、データシステムを再インストールします。
IQT レポートの結果が「合格」となるまで、システムを使用しないでください。

OpenLAB CDS ワークステーションの最新バージョンへのアップグレード

マスターインストーラを使用すると、OpenLAB CDS ワークステーションを新しいバージョンへと簡単にアップグレードすることができます。

ワークステーションを OpenLAB CDS A.01.0x から OpenLAB CDS A.01.03 へとアップグレードするには、以下のステップに従います。

- 1 マスターインストーラ **[計画]** 画面から、**[インストール]** 画面に切り替えます。
- 2 **[OpenLAB CDS インストール]** を選択します。
OpenLAB CDS がすでにインストールされている場合は、**[OpenLAB CDS アップグレードウィザード]** が自動的に開きます。
[アップグレードウィザード] の **[サマリ]** 画面には、アップグレード対象のコンポーネントがリスト表示されます。
- 3 **[アップグレード]** を選択してアップグレードを開始します。
アップグレード中にエラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。
- 4 アップグレードが完了したら **[完了]** を選択して、**[OpenLAB CDS アップグレードウィザード]** を閉じます。

ライセンスのインストール

データシステムソフトウェアの基本インストールは完了しました。

このシステムには **60 日間スタートアップライセンス**が付属されており、期限の開始日はアプリケーションを初めて開始した日付となります。

ファイナルソフトウェアライセンスを要求およびダウンロードし、システムに**ライセンスファイル**を追加の詳細については、『ソフトウェアライセンスインストールガイド』（文書番号 **M8301-90072**）を参照してください。

ファイナルソフトウェアライセンスを取得およびインストールした後は、プロジェクト、ユーザー、および機器を設定してエンドユーザーが操作できるようにデータシステムの準備が続けられます。これは、**オンラインヘルプ**リソースを扱う **【OpenLAB CDS コントロールパネル】** より実行できます。詳細は、Agilent または販売担当者にお問い合わせください。

本書の内容

本インストールガイドは、システム管理者およびその他のユーザーが Agilent OpenLAB クロマトデータシステム（CDS）を各ワークステーションに素早く、かつ正確にインストールできるようにすることを目的としています。

© Agilent Technologies 2010-2011

Printed in Germany and USA

07/2011



M8301-96002



Agilent Technologies